

令和3年度

東北学生アーチェリー秋季選手権大会

大会参加要項

東北学生アーチェリー連盟

大会委員長 福地 唯史

総務委員長 岩間 永樹

1. 期日

令和3年10月31日(日)

2. 日程

8:45 送迎バス出発
9:30 選手・役員集合
11:00 受付開始・弓具検査(~11:20)
11:30 開会式
11:45 フリープラクティス
12:00 50m 競技開始
13:30 休憩
13:45 30m 競技開始
15:15 競技終了
15:30 異議申し立て
16:00 閉会式

* 選手・役員共に上記時間まで集合いただき、会場準備にご協力願います。
また、試合の進行状況によりタイムスケジュールに変更が生じることもあります。予めご了承ください。

3.式次第

開会式

1. 選手整列
2. DOS 注意
3. 選手退場

閉会式

1. 選手整列
2. 成績発表
3. 選手退場

4.会場

秋保リゾートホテルクレセント森林スポーツ公園 総合グラウンド
仙台市太白区秋保湯元青山 33-1

5.交通(希望者のみ)

仙台駅東口から送迎バスを出します。

8:30 までに仙台駅東口に集合してください。

(料金 1000 円)

※エントリー時に利用の有無をお伺いしますので、希望された方は当日現金にてお支払いください。

6.競技種目

50/30m ラウンド

<団体>

1 チーム 3人以上4人以下

各チーム上位3名の点数の合計で順位を決定します。

※各大学何チームでも参加出来ます。男女混合のチーム編成も可能です。

チームを組む場合はエントリーシートにチーム名を記載するようにお願いします。

<個人>

団体のメンバーとして参加しない方は、個人で参加することが出来ます。

7.競技規定

全日本アーチェリー連盟競技規則

8.表彰

<団体>

1~3位:賞状

※準備の都合により、大学混合のチームが表彰される場合でも賞状を複数枚発行することは致しません。ご理解の程よろしくお願い致します。

<個人>

男女とも1~6位:賞状

9.大会参加申し込み方法

エントリー用紙、保険申込用紙に必要事項をご記入の上、期限までに総務委員長(岩間)までEメールで提出してください。その際、総務委員長からエントリーを確認したという旨の返信があるので、必ずご確認ください。もし、返信がない場合はご連絡ください。

期日までにエントリーシートがこちらで確認出来ない場合には、大会の参加を認めないものと致しますのでご注意ください。

・期限 **令和2年10月18日(月) 必着**

・提出先

東北学生アーチェリー連盟 総務委員長 岩間 永樹

メールアドレス：tsaf54.iwama.soumu@gmail.com

10.費用

大会参加費(保険料込み): 1人 2000円

※送迎バスを利用される方は1,000円が別途必要となります。

なお大会参加費は例年と異なり、当日現地での現金払いとなります。
費用に関してご不明な点がある場合は下記財務委員長までご連絡をお願いします。

<財務連絡先> 東北学生アーチェリー連盟 財務委員長 兵頭 正子

E-mail : tsaf54.hyodo.zaimu@gmail.com

11.注意事項

- ・昼食は用意しませんので、各自で用意してください。
- ・団体戦で出場する方は、統一された各大学のユニフォーム、ジャージを着用してください。また、スラックスの代用としてジーンズ、チノパン等の着用は認めません。

<新型コロナウイルス感染症に関して>

本大会を行う上で感染症の予防の観点から次の点に注意してください。

- ・大会中も日頃から各自が行っているコロナ対策を行ってください。
- ・準備、矢取りの際にはマスクを着用するようにしてください。
- ・体調が優れない場合にはすぐに役員に知らせてください。

【※重要※】

- ・感染拡大状況等により、やむを得ず延期。中止とさせていただく場合もございます。何卒ご理解の程をお願いいたします。
- ・参加にあたっては、各大学や都道府県で定められている課外活動ガイドライン・BCP自粛要請などを遵守願います。
- ・大会当日は各自検温を行っていただき、万一発熱があった場合には、申し訳ありませんが来場・参加をお控えください。

12.連絡先

ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

東北学生アーチェリー連盟 大会委員長 福地 唯史

TEL: 080-7882-5474

メールアドレス: ajasaf61.fukuchi@gmail.com

東北学生アーチェリー連盟 総務委員長 岩間 永樹

メールアドレス: tsaf54.iwama.soumu@gmail.com

<<競技方法>>

50,30mラウンド

- ・行射は、50,30mを各 36 射、計 72 射で行う。
- ・行射は、一発射回につき 3 射、制限時間は 2 分間とする。
- ・行射は、信号機により行う。
- ・フリープラクティスは当日、競技開始前に 1 人当たり 2 分間を 2 回行う。

(AB-CD-CD-AB という形です。)

- ・矢取りについては、フリープラクティスは AB 矢取り、CD 矢取りとする。
- ・競技については AB・CD 矢取り、CD・AB 矢取りの繰り返しとする。
- ・点数が同点の場合、1) 10 金数が多い者、2) X 数が多い者で決定する。
- ・弓具破損の処理時間は 15 分間とする。
- ・ロストアローが発生した場合は速やかに審判員に申請すること。
- ・3mライン

※矢を落下させるか、または発射ミスをした場合、その矢の一部がシューティングラインと 3mラインの間にある場合は再発射できる。但し、その判断は選手個人で行うこと。

※また、看的用紙のご記入にご注意下さい。読めないと判断された、曖昧だと判断されたりした場合は 0 点となります。大学名、氏名も省略せず記入するよう、各大学で徹底して下さい。その他に関しては、全ての競技について全日本アーチェリー連盟競技規則に従って行います。

** 競技役員 **

大会委員長 福地 唯史
大会副委員長 佐藤 優衣

競技委員長
総務委員長

近藤 綾香
岩間 永樹